

## 平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西学院大学 災害復興制度研究所
活動テーマ	県外避難の子どもたちの学習支援活動と幼い子どもの母親支援



本活動は、東日本大震災によって県外避難を余儀なくされ、西宮市および周辺都市で避難生活を送っている子どもを抱える家庭を中心に、保育サポートと学習支援をおこなうことにより、避難家族が少しでも安心して避難生活を送れることを実現することを目的としている。加えて、避難者たちの交流の場を提供することを目的としている。

継続的な支援活動のなかで、県外避難者は経済的な課題と心理的な課題、そして保育・教育的な課題を抱えていることが分かった。また、避難生活は、被災地で培った今までの人的ネットワークからの断絶だけでなく、避難地域のコミュニティとの交流も難しくなっている。

このような、避難者の心理的および保育・教育的課題を軽減させるために、以下の2つの活動をおこなった。

### 1. 子どもたちへの「学習会」の開催

主に大学生ボランティアが「大きなお兄さん お姉さん」となって、継続的に関わることで、子どもたちに安心感と楽しみをもってもらいながら、子どもの健全な成育を促す。

### 2. 母親を中心とした交流会

情報や会う機会などが制限されている県外避難者のために、交流会を開く。

これらに関して、学習会、交流会それぞれ4回ずつの活動をおこなった。学習支援に関しては、子どもたちが安心して活動できる環境ができた。また、母親が安心して子ども預けられる関係性が構築されたので、母親が子どもの育児や教育から解放される時間を持つことができた。交流会に関しては、このような交流会がどんどん減少していく中で、安心して参加でき、同じ境遇、悩み、課題を抱えた避難者たちが「居場所」として感じられるような場を提供することができた。